

借入金管理特別会計款別一覽表

歳入

款別	区分	予		算		現		額	
		当初予算額		補正予算額	繰越事業費 繰越財源 充当額	計			
		金額	構成比			金額	構成比		
1	繰入金	21,443,005,000	58.2%	138,413,000		21,304,592,000	58.0%		
2	市債	15,429,400,000	41.8	27,500,000		15,401,900,000	42.0		
歳入合計		36,872,405,000	100.0	165,913,000		36,706,492,000	100.0		

歳出

款別	区分	予		算		現		額	
		当初予算額		補正予算額	繰越事業費 繰越額				
		金額	構成比						
1	繰出金	15,429,400,000	41.8%	27,500,000					
2	公債費	21,443,005,000	58.2	138,413,000					
歳出合計		36,872,405,000	100.0	165,913,000					

(単位 円)

調 定 額		決 算 額				不 納 欠 損 額	収入未済額		還 付 未 済 額
金 額	構成比	収入済額	構成比	調定額 対 比	予算現 額 対 比		金 額	構成比	
21,299,582,699	61.6%	21,299,582,699	61.6%	100.0%	100.0%				
13,265,600,000	38.4	13,265,600,000	38.4	100.0	86.1				
34,565,182,699	100.0	34,565,182,699	100.0	100.0	94.2				

(単位 円)

計		決 算 額			翌 年 度 繰 越 額	不 用 額	
金 額	構成比	支 出 済 額	構成比	予算現 額 対 比		金 額	構成比
15,401,900,000	42.0%	13,265,600,000	38.4%	86.1%	1,080,800,000	1,055,500,000	99.5%
21,304,592,000	58.0	21,299,582,699	61.6	100.0		5,009,301	0.5
36,706,492,000	100.0	34,565,182,699	100.0	94.2	1,080,800,000	1,060,509,301	100.0

平成28年度借入金管理特別会計繰越明許費繰越調書

事業名 一般会計への繰出金

一般会計の補正に伴い年度内に予算化したが、年度内執行が不可能なことから、事業費を繰り越したものである。

款 1 繰出金

項 1 市債繰出金

目 1 一般会計繰出金

(単位 円)

節	翌年度 繰越額	左 の 財 源 内 訳			
		既 収 入 財 源	未 収 入 財 源		
			国庫支出金	都 支 出 金	市 債 そ の 他
28 繰 出 金	1,080,800,000			1,080,800,000	

(単位 円)

借入金管理特別会計歳入

(予算現額) 当年度決算額
<前年度決算額>

1 繰入金

他会計繰入金	財政課 下水道課	(21,304,592,000)	21,299,582,699
			<0>
(1) 一般会計繰入金	12,584,784,994		
(2) 下水道事業特別会計繰入金	7,885,005,711		
(3) 土地取得事業特別会計繰入金	80,292,089		
(4) 駐車場事業特別会計繰入金	749,499,905		
各会計における公債費元金及び利子の繰出額の合計			

2 市債

市債	財政課 下水道課	(15,401,900,000)	13,265,600,000
			<0>
(1) 総務債	314,100,000		
(2) 民生債	318,600,000		
(3) 衛生債	413,600,000		
(4) 土木債	4,036,300,000		
(5) 消防債	61,800,000		
(6) 教育債	1,217,800,000		
(7) 臨時財政対策債	5,100,000,000		
(8) 下水道債	1,803,400,000		
借入先内訳は、42・43、541ページのとおり			

(単位 円)

借入金管理 特別会計						主要な施策の成果・事務報告書		(予算現額)		当年度決算額	
										<前年度決算額>	
決	算	額	繰	入	金	市	債			執	行
率											
34,565,182,699	21,299,582,699	13,265,600,000								94.2%	

<p>本会計で収入した各会計の市債について、同額を各会計に繰り出すとともに、各会計の市債の元金及び利子の償還を本会計で一括して行うことで、市債管理の透明性を高めた。 なお、一般会計の補正に伴い年度内に予算化したが、年度内執行が不可能なことから、事業費の一部を翌年度に繰り越した。</p> <p>【繰越明許費分は570ページ参照】</p>											
1 繰出金											
						財政課		(15,401,900,000)		13,265,600,000	
						下水道課		<0>			
						市債				13,265,600,000	
(1) 一般会計への繰出金						11,462,200,000					
(2) 下水道事業特別会計への繰出金						1,803,400,000					
平成29年度への繰越明許費分 1,080,800,000 を含まず。											
2 公債費											
						財政課		(21,304,592,000)		21,299,582,699	
						下水道課		<0>			
						繰入金				21,299,582,699	
(1) 元金											
ア 一般会計元金						11,249,559,796					
イ 下水道事業特別会計元金						6,151,102,352					
ウ 土地取得事業特別会計元金						78,457,500					
エ 駐車場事業特別会計元金						721,152,421					
(2) 利子											
ア 一般会計利子						1,335,225,198					
イ 下水道事業特別会計利子						1,733,903,359					
ウ 土地取得事業特別会計利子						1,834,589					
エ 駐車場事業特別会計利子						28,347,484					
現債額及び償還額は40～43ページのとおり											

翌年度へ繰越し 0円

